

MS&ADインシュアランス グループについて

MS&AD インシュアランス グループについて

MS & ADインシュアランス グループは特色ある3つの国内損害保険会社と2つの国内生命保険会社を中心とした保険・金融グループです。「グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えます」をミッションに掲げ、世界48の国・地域で海外事業を展開しています。グループの強みである多様性を活かし、地域密着からグローバルまで、お客さまのあらゆるニーズに対応した商品・サービスを提供しています。

ドメイン別事業概要

国内損害保険事業

国内シェアNo.1

正味収入保険料シェア (2025年度)
(出所) 各社公表数値より当社グループ調べ

グループ全体で多様なお客さまニーズへ万全に対応

MS&AD 三井住友海上

MS&AD あいおいニッセイ同和損保

MS&AD 三井ダイレクト損保

国内生命保険事業

保険料等収入規模 損保系生保No.1

損害保険グループ傘下の生命保険会社の
保険料等収入ランキング (2025年度)
(出所) 各社公表数値より当社グループ調べ

異なる特長を持つ2社が強みを活かし、保障商品と
資産形成型商品を展開

MS&AD 三井住友海上あいおい生命

MS&AD 三井住友海上プライマリー生命

海外事業

ASEAN域内No.1

ASEAN総収入保険料ランキング
(出所) 最新の公表数値より当社グループ調べ

48の国・地域に海外ネットワークを構築し、ASEAN10カ国
に拠点を持つ損害保険グループ

MS Amlin MS FirstCapital

MS&AD Aioi Nissay Dowa Europe

金融サービス事業

新たな金融商品・サービスの開発や提供を通じて、
グループ総合力を発揮

MS&AD 三井住友海上キャピタル

社会課題へのソリューション事業

保険事業との強いシナジーが見込める
保険外事業・ソリューションを開発・展開

MS&AD MS&ADインターリスク総研

ミッション・ビジョン・バリュー

経営理念(ミッション)

グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えます

経営ビジョン

持続的成長と企業価値向上を追い続ける世界トップ水準の保険・金融グループを創造します

行動指針(バリュー)

お客さま第一

誠 実

チームワーク

革 新

プロフェッショナリズム

グループ経営計画

目指す姿（定性目標）

2026年度から、当社グループは2030年度の「目指す姿」を描いた新たな経営計画をスタートさせました。グループの役割や社会的な責任が、これまで以上に重要になる中で、保険本来の価値提供を追求し、「お客さまから最も選ばれる保険・金融グループ」を目指して、成長と挑戦を続けていきます。

新たな経営計画では、不確実性が増す時代において、当社グループにお客さまの大切な未来を託していただくために、グループタグライン「Taking on Risk, Leading the World ～リスクに挑み、世界をリードする～」を掲げました。全役職員が、当社グループの役割や社会的責任を自覚し、価値観や行動をアップデートすることを通じて、ビジネスモデルを転換し、保険業界への信頼を取り戻すための変革をリードしていくことが何より大切だと考えています。

また、世界に広がるグループの事業基盤を最大限に活用し、お客さまに「最適な安心」「最高のエフォートレス体験」「最先端のソリューション」を提供することで、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えていきます。

当社グループは、将来的に目指す姿として1兆円の修正利益^(注)という目標を掲げました。目標達成に向けて、国内・海外の保険事業、資産運用、社会課題・地域課題を解決する新しいビジネス機会など、既存の枠組みを超えた挑戦をし続けることで、政策株式売却完了後の2030年度においても安定的かつ持続的な利益を創出できる、確かな事業構造を築いていきます。

(注) IFRS当期純利益に対して、キャッシュベースを重視した調整を加えた利益

2030年度に向けた取組姿勢

国内保険会社の取組姿勢

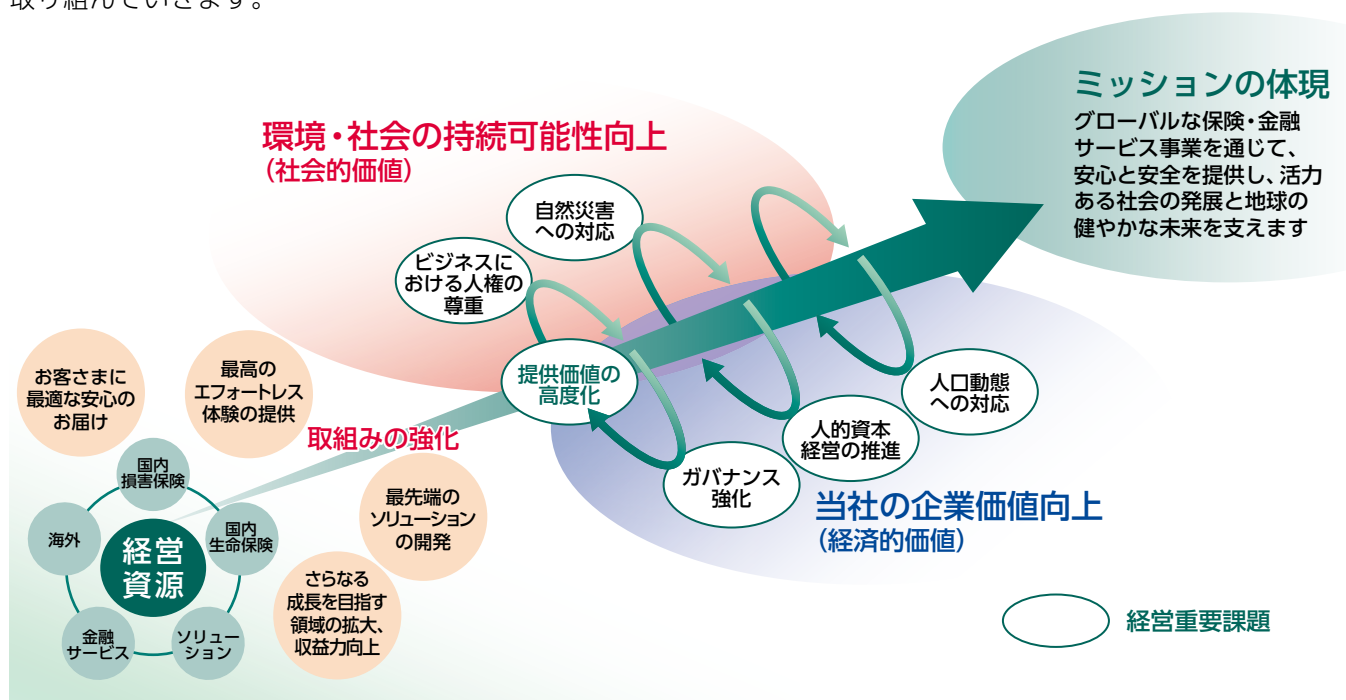
お客さまから最も選ばれる保険・金融グループ

グループタグライン

Taking on Risk, Leading the World
～リスクに挑み、世界をリードする～

提供価値の高度化によるミッションの体現

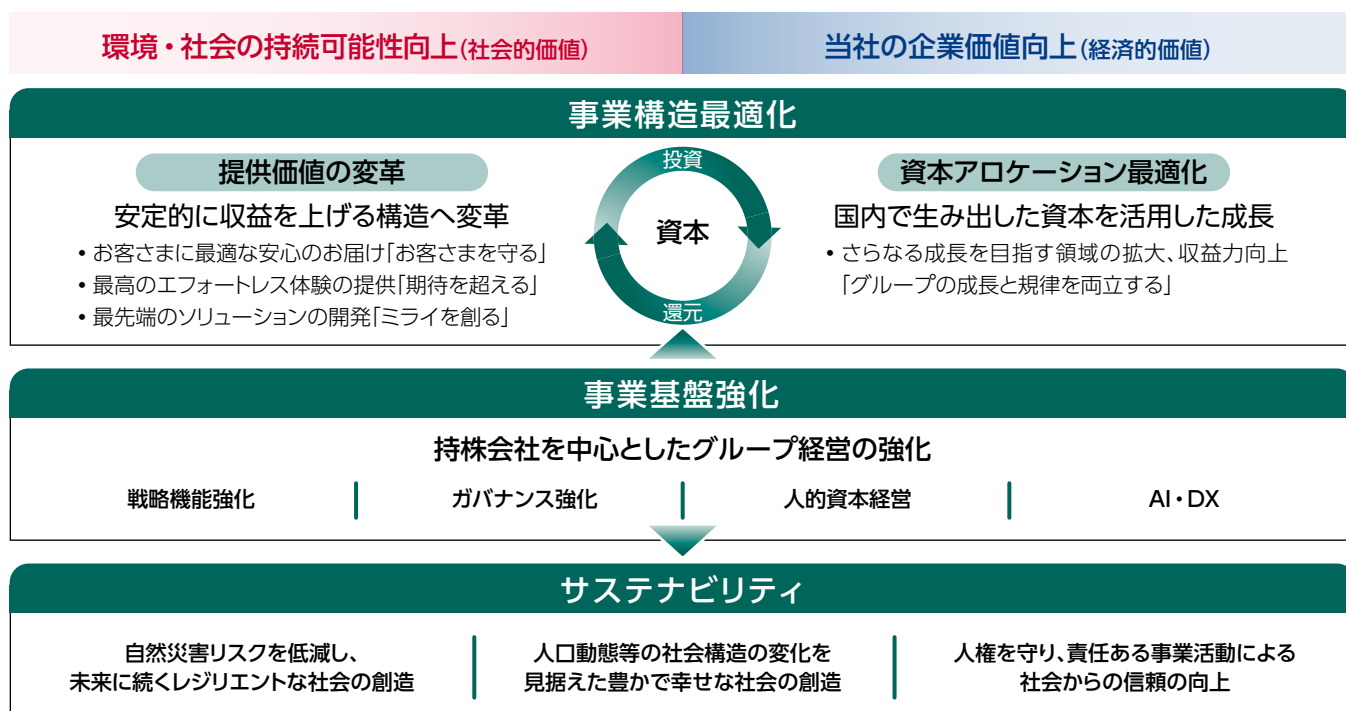
当社グループが社会インフラとしての保険を安定的・継続的に提供していくためには、経営重要課題を着実に解決し、安定的に利益を生み出し続けることが必要です。そのため、「環境・社会の持続可能性向上（社会的価値）」と「当社の企業価値向上（経済的価値）」を同時に実現していくことが不可欠であることを再確認し、「目指す姿」の実現に向けて取り組んでいきます。



お客さまからの持続的な支持拡大に向けた取組み

2029年度末までに政策株式の売却を完了させることを見据え、当社グループは、本業において安定的かつ持続的な利益を創出できる事業構造への転換を重要課題と認識しています。そのため、グループの提供価値を一層高め、資本のアロケーション（活用方法）を最適化することで、「事業構造そのものの強化」（事業構造最適化）に取り組んでいきます。

また、「事業構造最適化」を推進するための基盤として、持株会社を中心としたグループ経営の強化、すなわち事業基盤を一層強化することを通じて、お客さまからの持続的な支持拡大に取り組んでいきます。



目指す姿（定量目標）

政策株式売却完了後の2030年度においても、安定して8,000億円超の利益（修正利益）をあげる収益構造の確立（本業において利益を生み出す構造への転換）を実現していきます。

修正利益

2030年度

8,000億円

EPS成長率

2025年度～2030年度

11%（年率）

修正ROE

2030年度

11%以上

ESR

2030年度

180%以上

▶ 2030年度の修正利益目標（事業ドメイン別の内訳）

項目	2025年度 （実績）	2030年度 （見通し）	将来的に 目指す姿
修正利益（グループ）	9,187	8,000	10,000
政策株式売却益	3,933	—	—
除く政策株式売却益	5,255	8,000	10,000
国内損害保険事業	1,776	2,400	—
国内生命保険事業	501	1,000	—
海外事業	2,961	4,200	—
金融サービス事業	62	300	—
社会課題へのソリューション事業	▲46	100	—

▶ 【参考】「目指す姿（定量目標）」の実現に向けたKPIの定義

修正利益 ^(注1)	=	当期利益	+	政策株式売却損益 純投資株式売却損益 ^(注2)	-	市況変動影響 ^(注3) 新契約費繰延影響 ^(注4) 新契約費繰延影響 ^(注5)	-	その他特殊要因 ^(注6) （のれんの減損等）
修正純資産 ^(注1)	=	連結純資産	-	含み損益（AOCI） ^(注7)	-	のれん・企業結合に 係る無形資産		
修正ROE	=	修正利益 ^(注1)	÷	修正純資産 ^(注1)				

（注1）各調整額は税引後

（注2）FVOCI指定した純投資株式に係る売却損益

（注3）金融資産に係る当期評価損益・為替損益を除外（売却損益は除外しない）、三井住友海上プライマリー生命は保険負債に係る市況変動影響等も除外

（注4）海外事業、金融サービス事業等は調整しない

（注5）三井住友海上プライマリー生命は調整しない

（注6）企業結合に係る無形資産の償却費・減損を含む

（注7）金融資産および保険負債に係る含み損益（政策株式・純投資株式に係る含み損益を除く）を控除

EPS成長率	EPS（右記） の成長率	=	修正利益 （除く政策株式売却損益）	÷	発行済株式総数 （除く自己株式数）
ESR	=	時価純資産	÷	統合リスク量	